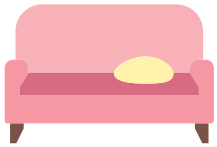
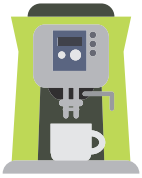
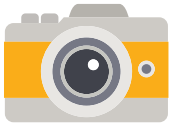


BOOKOFF REPORT

第25期

［2015.4.1~2016.3.31］

CONTENTS

- Top Message
- ブックオフグループってどんな会社？
- 年間トピックス
- 特集 ブックオフ最前線！
- ブックオフグループ店舗展開
- 第25期 新店紹介
- ブックオフグループのCSR活動
- 連結財務諸表

「本のBOOKOFF」から「何でもリユースのBOOKOFF」へ

代表取締役社長 松下 勝千

Q 2016年３月期の業績の総括からお聞かせください。

A 当社は、昨年5月に「2020年3月期までに連結営業利益40億円を達成する」というグループ中期事業計画を公表しました。そして、その初年度である第25期（2016年3月期）を「BOOKOFFの変革」に向けた準備期間と位置づけ、「商圏の変革（ネットを活用した販売の強化）」と「商材の変革（何でもリユースに向けて、家電の取扱いからスタート）」の２つの変革を早期に実現するべく、「店舗の人員増強とオペレーションのトレーニング」「買取査定支援システムやネット販売支援ツールの構築と導入」「店舗のリノベーション」「認知向上のための広告宣伝の投下」などの各種施策を強力に推進してまいりました。

その結果、「いらなくなったモノを何でも持ち込めて、店舗の商品がネットでも買えるBOOKOFF」への変革に向けて大きな一歩を踏み出した1年となりました。

想定より成果として実を結ぶところまでに少し時間がかかっているという印象はありますが、方向性は間違ってはいないという確信は得られており、2016年３月期に一気に体制を整備できたことは、今後、変革を強力に推し進めていく上で非常に価値があると捉えています。

Q 「グループ中期事業計画」２年目の重点施策をお聞かせください。

A 当社グループの中期事業計画は、大きく４つのテーマで構成されています。

中期事業計画：4つのテーマ

1. **「BOOKOFF」の変革**
   ～「本のBOOKOFF」から「何でもリユースのBOOKOFF」へ～
2. **総合リユース店舗の拡大**
   ～大型化・複合化による圧倒的に強いリユース店舗の拡大～
3. **ブックオフオンライン事業の拡大**
   ～中古本の品揃え最大化の実現と取扱い商材の拡張～
4. **ハグオールの事業拡大と収益化**
   ～事業モデル構築から規模の拡大と収益獲得へ～

2年目となる2017年３月期は、2016年３月期に実施した取組みを確実に内外で定着させ、着実に成果として積み上げてまいります。「商材の変革」における家電取扱サービスの認知度の向上、認知後の行動を促す取組みを、一歩一歩、確実に進めていきます。また、家電にとどまらず、次にユーザーニーズの高い商材は何かという検証を進め、１つずつ追加していきたいと考えています。そのためにも、様々なモノをお持ち込みいただける「BOOKOFF」を目指し、総合リユースの大型店「BOOKOFF SUPER BAZAAR」、複合店「BOOKOFF PLUS」などの新規出店、既存店舗のリプレイス出店、ハグオールの収益化を進めるとともに、オンライン販売の拡大にも取組みます。そうして「商材」と「商圏」の２つの方向からの取組みを強化し、「本のBOOKOFF」から「何でもリユースのBOOKOFF」へと変革を進め、リユースがより身近なサービスとなることを目指してまいります。

Q ステークホルダーの皆様にメッセージをお願いいたします。

A 中期事業計画の５カ年で変革をしっかりと定着させ、事業基盤を拡大することで、必ず収益力を回復させ、成長軌道を取り戻します。リユースを通じた事業展開にて２つの経営理念の実現を目指してまいりますので、引き続きご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

当社グループについて、ご紹介いたします。

ブックオフグループは、
捨てない人のインフラをつくるカンパニーです。

お客様や近隣の皆様に「この店があって良かった」と思っていただけるように、
当社の従業員が「この店で働けて良かった」と誇りを持てるように、
ブックオフグループでは以下2つのことを経営理念としています。

経営理念

事業活動を通じての社会への貢献
全従業員の物心両面の幸福の追求

ブックオフグループの強み

全国に広がる約900の店舗

創業から20余年で、グループ全体で国内外約900店舗のチェーン店に成長いたしました。

消費者に高い認知度

消費者意識調査でのBOOKOFFの認知度はほぼ100%。「モノを売る場所」として広く知られています。

安心して売れるブランド

お客様の立場に立った買取サービスや法令遵守の徹底など、お客様が安心してモノを売れる店づくりを行っています。

我々の使命である「捨てない人のブックオフ」実現のため、
誰でも気軽にリユースを利用できる世界 =
リユース利用率100% を目指しています。

第25期（2015年4月から2016年3月）の当社グループの取組みについて、ご紹介いたします。

2015年4月
- プライベートブランド商品（以下PB商品）「しかけえほん」発売
- 免税サービス導入
- BSB14号千葉幕張店 オープン
- BOP名古屋新中島フランテ店 オープン

2016年5月末現在60店舗で免税サービスを導入しています。今期もサービス導入店舗を拡大してまいります。

6月
- ハグオール 日本橋三越に買取ご相談窓口を設置
- BOPドン・キホーテ秋田店 オープン

7月
- PB商品 幼児向け知育パズル「パズルブックシリーズ」発売
- PB商品 小学校低学年向けドリル「小学生の勉強シリーズ」発売

9月
- ブックオフコーポレーションが三井住友銀行「SMBCなでしこ融資」により「女性活躍先進企業」として認定
- ハグオールのロッカー型買取システム「スマート買取 ショップType」設置開始

10月
- BOOKOFF 新宿駅西口店内に都内最大級の品揃えを誇る中古アニメ専門フロアをオープン

当社では初の試みとなる業態。都内最大級となる中古アニメ商材を幅広く取り揃え、専門知識を持ったスタッフによる接客により、アニメファンのコミュニティーの核となるような店舗を目指しています。

11月
- PB商品 豪華しかけえほん「ゆきだるまとキラキラクリスマス」発売

とびだす！うごく！ひろがる！めくる！しかけがいっぱいの大判絵本。各ページ毎に違うしかけがあり、めくる度に楽しめるような工夫をしています。

- ブックオフオンラインの在庫連携により「ヤフオク!」の本・雑誌カテゴリ常時出品冊数が500万冊以上に
- BOP田富昭和通り店 オープン

12月
- 2015年ブックオフオンライン年間ランキングを発表
- 勤務地域限定「ストア社員」制度導入

2015年3月より発行を開始したブックオフ会員カード。1年経たずに累計発行枚数が1,000万枚を突破しました。

2016年1月
- ブックオフ会員カード発行枚数が1,000万枚突破

3月

BSB：BOOKOFF SUPER BAZAAR
BOP：BOOKOFF PLUS

「BOOKOFF」の商材の変革

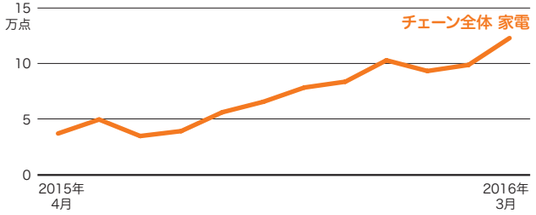
家電商材の取扱いを開始

ブックオフコーポレーション株式会社 事業開発部長
鈴木渡

リユース市場の中でも、特に成長が見込まれるデジタル家電商材の取扱いを2015年４月より開始しました。携帯電話やスマートフォン、タブレット、音楽デジタルメディアプレーヤー、パソコン、液晶テレビなど、比較的パーソナルユースの商材を対象としています。品番があるために検索性が高いデジタル家電は、リユース・プラットフォームとして確立されている「BOOKOFF」のデータベースの仕組み、店頭オペレーション等を活かせる商材であり、大きなシナジーが期待できます。一方で、専門性を有する商材でもあることから、お客様や店舗側の不安を解消するため、家電導入店舗にWebカメラを設置し、より専門性の高い専任スタッフと相談できる体制も整えました。徐々に認知度、買取実績ともに高まりつつありますが、今後は、魅力的なサービスの実現に向け、地域性や店舗業態の違いなどを考慮しながら、付加価値および利便性の高いサービスへと進化させることが重要になってくると考えています。

2017年３月期は、客層のターゲットを明確にして、お店により多くの商品を持ち込んでいただくために買取価格の掲示や売り方のガイド本を作成して心理的なハードルを下げる取組みを実施するほか、単独店、複合店で展開するサービスを変化させていきます。また地域性を加味し、中でも東京・神奈川を戦略地域として買取拡大を加速させるとともに、コストの適正化を図り、収益性の向上に努めていきたいと考えています。

買取点数の推移



中古家電導入のためのインフラづくり

本社専門スタッフが全国の販売状況や市場の価格変動をみながら買取価格を設定

店舗スタッフは家電専門の買取システムを使って適正な価格査定を実現

Webカメラを利用した遠隔査定

専門チームによる現場教育

「BOOKOFF」の商圏の変革

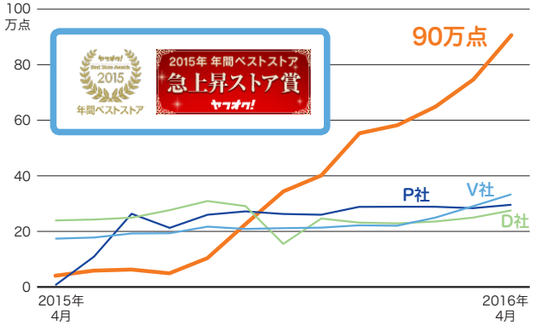
店舗買取商材をヤフオク！でも販売

ブックオフコーポレーション株式会社 ヤフOFF!推進部長
渋谷順一

BOOKOFF店頭での買取商材をインターネットオークションサイト「ヤフオク!」で販売する仕組みを確立し、インターネット上に販路を拡大することで、近くにブックオフがないお客様、近くのブックオフには欲しいものがないお客様のニーズに応えるよう取組みを進めています。

前期１年かけて段階的に導入店舗を拡大し、現在では、直営、加盟店合わせて全国約500店舗がヤフオク!に出品する体制を構築しました。書籍やCD・DVDなどのソフトメディアのほか、「BOOKOFF SUPER BAZAAR」や「BOOKOFF PLUS」等の複合業態店舗からは、家電、アパレル、ホビー等の商材を合わせて100万点以上出品しています。ご来店いただけるお客様だけでなく、全国津々浦々のお客様に数多くの商品をご提案できる体制を作れたことは今後の事業展開において非常に大きな一歩であったと考えております。今後は、圧倒的な集客力を最大限に活かせるよう、出品数を確実に増やす取組みを強化するほか、家電やアパレル、ホビー等、高額商材の拡充にも力を入れていきます。そうして、お客様の消費行動が変化する中で、より世の中のニーズに合致する、利便性の高いサービスを提供する環境を整え、お客様満足を高めることで、さらなる事業規模の拡大を目指していきます。

ヤフオク!BOOKOFFオークションストア 出品点数推移



ヤフオク!への出品工程

スタッフが1点1点丁寧に行う出品作業の様子

ヤフオク！1,000万冊出品を目指して
ブックオフオンライン事業の拡大

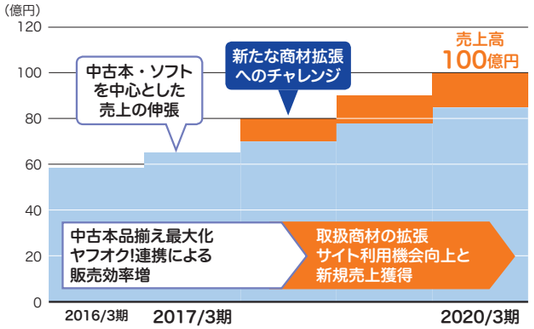
ブックオフオンライン株式会社 取締役
鈴木健介

国内最大級の中古書籍ECサイトの確立に向け、2017年３月までに「ヤフオク!」における書籍全般の常時出品冊数「1,000万冊」を目指し、「ヤフオク!」ストアと在庫連携をしている自社サイト「BOOKOFF Online」の在庫点数拡大を進めています。

これまでの宅配買取に加え、BOOKOFF店舗での買取商材を定期的に物流センターに移送する仕組みの構築とセンター増床を実現したことで、在庫数は順調に増加しており、店舗からの商品供給は、品揃えの面で非常に大きなアドバンテージになると考えています。一方で、敷地拡張による回転率や作業効率の低下を招くことのないよう、ピッキング導線の最短距離化、発送業務における荷合わせの効率化など収益性を維持する取組みにも工夫を凝らしているほか、スマートフォンやタブレット利用者の利便性を向上させるサイトリニューアルなどの施策も実施しています。

まずは、2017年３月までに「ヤフオク!1,000万冊」を実現すること、そして、法人向け事業も含め、提供サービスの付加価値を高めていくこと、ここをしっかりとやり遂げ、ブックオフオンラインとして、2020年３月期までに売上高100億円の達成を目指していきます。

ブックオフオンライン事業の拡大



物流センターの増床を実施

センター増床6,400坪→10,700坪※
※第一センター・第二センター合計坪数

書籍在庫約400万冊（16/3末）
→750万冊（17/3末計画）

あらゆるチャネルで買取り、最適チャネルで販売
ハグオール事業の取組み

リユースからはじまる、新しい消費スタイルの実現…

ハグオールは、店舗に限定せずあらゆるチャネルで買取り、最適なチャネルで販売するリユースビジネスを実現するため2013年4月に設立。ひとりでも多くの人からひとつでも多くのモノを買取り、リユースのインフラに乗せていく。「すべてのモノが次の持ち主に出会うための販路を見つけること」「現状のままで使用できないモノは、再生（リボーン）させること」

ハグオールは上記の考えのもと、買取チャネルの最大化、商品の付加価値化、販売チャネルの最大化に挑戦しています。

コンシェルジュ型総合買取サービス

2015年6月に三越日本橋本店新館8階に店頭買取ご相談窓口を設置しました。ご相談窓口は、お客様が使わなくなってしまった商品を一つの資産と捉え、お売りいただく際の疑問や買取に関する幅広いご相談などに専属のコンシェルジュがお応えするサービスです。

富裕層を中心に買取利用が大幅に伸長しており、三越銀座、東急百貨店本店（渋谷）にも期間限定で窓口を設置いたしました。

スマート買取 ショップType

「スマート買取 ショップType」は、WEBで申込み、あとは商品を買取ロッカーに預けるだけのまったく新しい完全無人化の買取サービスです。現在、ららぽーとなど21の商業施設に設置しています。

販売チャネルの最大化

商業施設を中心とした催事出店やインターネット販売、さらには法人向けB2B販売など枠にとらわれない販売チャネルの開拓を推進しています。

■店頭・催事販売

■インターネット販売

■ヤフオク！ハグオール
アパレルから家具・雑貨まで、幅広いジャンルの商品を数多く取り揃えております。

■ハグオールファッション ヤフーショッピング店
ハイブランド・アパレルを中心とした商品を数多く取り揃えております。

■ハグオールファッション 楽天市場店
ハイブランド・アパレルを中心とした商品を数多く取り揃えております。

※商業施設を中心に半年間で約20カ所で催事販売を実施

ブックオフグループのネットワークにより、年間1億人がリユースを利用

BOOK・OFF
本・ゲーム・DVDだけでなく携帯も買取

店名：ブックオフ
平均売場面積：130坪
取扱商品：本・CD・DVD・ゲーム・携帯電話等
※一部店舗では、トレーディングカード、ホビー、家電等も取扱い中。

BOOK・OFF PLUS+
アパレルとBOOKOFFの複合店舗

店名：ブックオフプラス
平均売場面積：317坪
取扱商品：本・CD・DVD・ゲーム・携帯電話・家電・アパレル・腕時計・ブランド品等

BOOK・OFF SUPER BAZAAR
総合リユースの大型複合店舗

店名：ブックオフスーパーバザー
平均売場面積：956坪
取扱商品：本・CD・DVD・ゲーム・携帯電話・家電・トレーディングカード・フィギュア・アパレル・スポーツ用品・ベビー用品・腕時計・ブランド品・貴金属・食器・家具等

国内 854店舗

BSB・BOP	72店舗
直営店64店舗、加盟店8店舗	
BOOKOFF	741店舗
直営店278店舗・加盟店463店舗	
その他リユース店舗	35店舗
直営店25店舗・加盟店10店舗	
新刊書店	6店舗

海外 11店舗

海外店舗は、現地の洋書などを取扱う店舗「グローバルBOOKOFF」を中心に展開。現地のお客様に喜んでいただけるお店づくりを目指しております。

アメリカ	9店舗

ニューヨーク西45丁目店・ガーデナ店・ウェストミンスターモール店・コスタメサ店・サンディエゴ店・デルアモファッションセンター店・レイクウッドセンターモール店・ドン・キホーテカヘカ店※・ハワイパールリッジ店※

フランス	2店舗

パリキャトーセプタンブル店※・パリファーブルサンタントワンヌ店※
※ハワイ・フランス4店舗はFC加盟企業が運営しています。

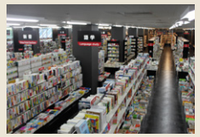
※2016年5月末日現在

- 年間買取客数 **1,658万人**
- 年間買取点数 **4億8,860万点**
- 年間販売客数 **8,585万人**
- 年間販売点数 **3億3,134万点**

【集計期間】2015年1月1日～12月31日
【集計対象】国内のBOOKOFFグループ店舗及びBOOKOFF Online
【対象商品】ブックオフチェーン取扱い商品

新刊事業

ブックオフグループは、新刊書店「青山ブックセンター」「流水書房」等を中心に6店舗展開しております。中古の本に限らず、読書の楽しさを様々な形で伝えてまいります。



2015 4/23 OPEN

BOOKOFF PLUS 名古屋新中島フランテ店

愛知県名古屋市中川区中島新町2-202 新中島フランテ2F

スーパーの2Fにある店舗なのでファミリー層のお客様に多くご利用いただいております。『フランテに来たらなんでも揃う！』を目指します！

BOOKOFF PLUS
名古屋新中島
フランテ店 店長
橘始甫

2015 6/11 OPEN

BOOKOFF PLUS ドン・キホーテ秋田店

秋田県秋田市旭北錦町4-58

秋田初のBOOKOFF PLUS。とくに土日はご家族連れに多くご利用いただいております。地域の皆様にリユースをもっと身近に感じていただけるお店を作っていきます。

BOOKOFF PLUS
ドン・キホーテ
秋田店 店長
吉川純

2015 4/23 OPEN

BOOKOFF SUPER BAZAAR 14号千葉幕張店

千葉県千葉市花見川区幕張町4-544-6

幕張新都心に昨年オープン。大型店としては千葉市内2店舗目となります。家電コーナーが充実した「何でもリユース」できるお店です。

BOOKOFF
SUPER BAZAAR
14号千葉幕張店 店長
岸健晴

2016 3/4 OPEN

BOOKOFF PLUS 田富昭和通り店

山梨県中央市山之神3356-1

山梨県で初めてのBOOKOFF PLUS。オープンからたくさんのお客様にお越しいただいております。山梨で一番“ワクワクする”お店を作っていきます。

BOOKOFF PLUS
田富昭和通り店 店長
田頭隆佑

売って支援プログラム

ご不要になった本・CD・DVD・ゲームソフトなどブックオフオンラインの宅配買取サービス「宅本便」を利用してお売りいただくと、その買取金額が熊本地震の被災者への支援に役立てられる「売って支援プログラム」。

お預かりした支援金（買取金額）はブックオフグループがマッチングギフトとして10%分上乗せし、日本赤十字社を通じて被災者の方々の支援に役立てられます。

震災の記憶を風化させてはならない……

この想いを胸に、当社グループは被災された方々や復興に取組む方の気持ちに寄り添いながら、“ブックオフだからできること”をお客様の皆様とともに継続的な支援を行ってまいります。

ダイバーシティ

ブックオフグループは、従業員が最大の財産であり、当社グループの競争力の源泉であると考えています。そのため、当社ではパートアルバイトスタッフ、社員を「人財」と呼んでいます。財産である従業員の職場環境を整備し、従業員の能力開発や自己啓発の機会を提供できるよう努めております。

ストア社員制度

当社では、2015年12月より「ストア社員制度」を導入しました。

●導入の背景・目的

「大都市圏の店舗で、安定した運営を担ってくれる人財の確保」
「総合リユースにおける商材担当社員の育成・確保」
「優秀でありながら全国転勤などの制度のため正社員として雇用することができなかった人財の活躍の場の提供」

女性活躍推進企業として第三者機関から評価されました

2015年9月、株式会社三井住友銀行より、「女性活躍先進企業」として評価いただき、「SMBCなでしこ融資」が実施されました。より一層女性の活躍促進に向けた制度設計やキャリア支援、社内風土の醸成を図り、女性従業員の活躍を推進してまいります。

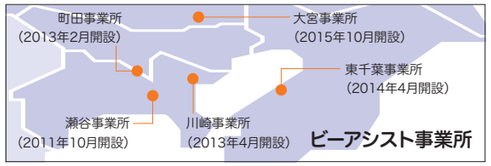
働きやすい職場環境づくり

経営理念の一つである「全従業員の物心両面の幸福の追求」の実現のためには、従業員の仕事と生活の調和を図ることが重要だと考えています。2014年10月に勤務地選択制度、介護に伴う勤務地選択制度、再雇用制度、リフレッシュ休暇を導入。仕事と生活とのバランスを図りながらいきいきと働いていただけるような職場環境づくりに取組んでいます。

勤務地選択制度	全国転勤はなく特定地域内での勤務が可能
介護に伴う勤務地選択制度	本人または配偶者が主たる介護者である場合、転勤を伴う異動について配慮する
社員再雇用制度	円満退社した社員を一定の条件付で再雇用
リフレッシュ休暇	上期及び下期にそれぞれ連続した5日間の休暇の取得を推進
産前産後休業	産前10カ月と産後８週間の休業制度
育児休業	子どもの育児のための休業制度。最長で子が2歳に達するまで
看護休暇	小学校就学前の子の看護のための休暇制度。年間12日間
介護休業	介護のための休業制度。最長93日
介護休暇	要介護状態にある家族の病院の付添等のための休暇制度。年5日（介護対象者が2人以上の場合は年10日）
短時間勤務制度	3歳未満の子の育児（3歳に達した年度末まで）や、要介護状態の家族の介護のために勤務時間を短縮できる制度。1週間の最低勤務日数2日、1日の最低勤務時間は6時間

障がい者雇用について

私たちブックオフグループでは、社会的責任を果たすため障がい者雇用を推進しています。働く意思を持ち、働くことのできる障害を持たれている方に「福祉」ではなく「企業の活動」として就労の機会・環境を提供し、社会参加・自立の支援を行っています。そのために2010年10月にビーアシスト株式会社を設立し、同年12月に障害者雇用促進法に基づく特例子会社として認定されました。ブックオフグループ全体で、2016年3月末現在で133名（障害者雇用率2.83%）※となりました。 ※内訳：身体障害者：5名　知的障害者：120名　精神障害者：8名



請負業務を担当するパートナースタッフ

●配属先：ビーアシスト事業所（5拠点）
●主な業務：ブックオフグループで販売する商品の加工・パッキングなど

店舗業務を担当するパートナースタッフ

●配属先：全国のブックオフグループ店舗
●主な業務：加工・陳列・販売・POP作成など

物流・倉庫業務を担当するパートナースタッフ

●配属先：東名横浜ロジスティクスセンター等
●主な業務：ピッキング・商品配送・携帯電話・タブレット等の情報消去など

※ブックオフグループでは、障害者手帳を持ち一緒に働く仲間を「パートナースタッフ」と呼んでいます。

古紙再生

ブックオフグループは、本やソフトなどの再利用に取組んでおります。各店舗で役割を終えた商品は、古紙や再生樹脂資源としてリサイクルされます。

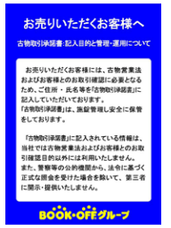
当期回収実績

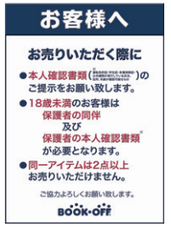
紙　　類	31,735,067トン
ソフト類	1,239,470トン

※国内ブックオフグループ直営店及び物流センターの2016年3月期データ

法令遵守

ブックオフが加盟している日本リユース業協会は、古物営業法、青少年保護育成条例などの法令遵守の徹底と、リユース業界の健全な発展を目指しております。また地元警察と連携し、盗品売買に関する情報提供の要請などに積極的に協力しております。





■ 連結損益計算書

単位：百万円

科目	2015/3期	2016/3期	前期比
売上高	74,347	76,564	103.0%
営業利益（損失）	1,127	△530	―
経常利益	1,677	5	0.3%
親会社株主に帰属する当期純利益（損失）	151	△528	―

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	2015/3期	2016/3期	前期差
営業活動	1,817	604	△1,213
投資活動	1,060	△3,537	△4,598
財務活動	6,914	2,674	△4,240
現金及び現金同等物の期末残高	15,395	15,127	△267

■ 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	2015/3期	2016/3期	前期差
流動資産	30,016	31,850	+1,833
固定資産	17,421	18,663	+1,242
負債	30,234	34,545	+4,310
純資産	17,203	15,968	△1,234
総資産	47,437	50,514	+3,076
有利子負債	21,634	25,609	+3,975
ネット有利子負債	6,212	10,448	+4,236

※有利子負債：短期・長期借入金＋長期未払金＋社債
※ネット有利子負債：有利子負債－現預金－有価証券

売上高

前期に実施した「TSUTAYA」事業の譲渡の影響によりパッケージメディア事業が減収となったものの、リユース店舗事業、ブックオフオンライン事業、ハグオール事業が増収となったことで、グループ全体では増収となりました。

営業利益

BOOKOFF店舗の変革に向けた先行投資や第4四半期に実施した中古家電の買取プロモーションコストにより販売費及び一般管理費が大幅に増加したため、営業損失を計上しました。

親会社株主に帰属する当期純利益

経常利益の大幅減少に加え、既存店の減損損失等特別損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失を計上しました。

資産・負債

新規出店やフランチャイズ加盟企業からの事業譲受に加え、ブックオフオンライン、ハグオールの事業拡大に向けた投資等により、総資産は前期末比3,076百万円増加しました。また負債は、借入金の増加及び新会員カード導入による売上割戻引当金の増加により、前期末比4,310百万円増加しました。

■ 2017年3月期計画

単位：百万円

科目	2016/3期	2017/3期	前期比
売上高	76,564	85,000	111.0%
営業利益（損失）	△530	800	―
経常利益	5	1,300	―
親会社株主に帰属する当期純利益（損失）	△528	350	―
配当金（予定）	25円	25円	―

2017年３月期は、コストコントロールの徹底や、各セグメントにおいて、中期事業計画に従い将来にわたるグループの企業価値向上に向けた積極的なアクションを進めるとともに、前期に実行した変革投資（新規施策）の効果発現を見込むことにより、営業黒字への転換を確実に達成してまいります。
なお、配当金につきましては、早期に利益水準の上昇を図ることから、１株当たり25円に据え置きといたします。

利益還元に対する考え方

当社は、利益配分を経営の最重要事項の1つと認識しております。連結純利益に対する配当性向は25%程度を目処とする方針です。当社としては持続的な業績向上を通じた増配を目指しつつ、内部留保については、財務体質の強化と将来の事業基盤強化につながる戦略的投資に対して有効に活用してまいりたいと考えております。

2016年3月期 配当金
25.00円

財務情報の詳細については当社IRサイトをご覧ください。

ブックオフ IR 検索

http://www.bookoff.co.jp/ir/investor.html

株主優待について

保有株式数	保有期間	
	3年未満	3年以上（※）
100株～200株未満	お買物券1,000円分	お買物券1,500円分
200株以上	お買物券2,000円分	お買物券3,000円分

（※）保有期間3年以上の株主様とは、保有株式数が過去3年以上継続して所定の株式数以上であることが当社の株主名簿に同一の株主番号で記載または記録されている株主様をいいます。

3月末日現在の株主名簿に記載された株主様には、ブックオフグループ全店でご利用いただける「お買物券」を年1回進呈いたします。
また、一定の株式数を長期間保持していただいている株主様からのご支援に感謝し、保有期間に応じて「お買物券」の金額を変更（拡充）いたしました。

発送日：株主総会終了後（7月上旬）
有効期限：翌年6月まで
使用可能店舗：BOOKOFF、BOOKOFF PLUS、BOOKOFF SUPER BAZAAR、B・SPORTS、B・STYLE、B・KIDS、BINGO（国内のみ、BOOKOFF Onlineは利用不可）

■ 企業情報 ※2016年3月31日現在

ブックオフコーポレーション株式会社
BOOKOFF CORPORATION LIMITED

住所　〒252-0344
神奈川県相模原市南区古淵2-14-20
http://www.bookoff.co.jp/

資本金　3,652百万円

従業員　1,156名

事業内容　書籍、パッケージメディア、アパレル等の総合リユース事業の運営

上場市場　東京証券取引所市場第一部（証券コード:3313）

■ 役員 ※2016年6月25日現在

取締役相談役	橋本真由美	社外取締役	中野捷夫
代表取締役社長	松下展千	社外取締役	野林徳行
取締役	小金井真吾	社外取締役	佐藤善孝
取締役	宮崎洋平	社外取締役	梅村雄士
取締役	堀内康隆	社外取締役	堤佳史
取締役	帖佐勇志	社外取締役	千葉雅之
		常勤監査役	田村英明
		社外監査役	内藤亜雅沙
		社外監査役	小堀秀明

■ グループ子会社

ブックオフオンライン株式会社
株式会社ハグオール
株式会社ブックレット
株式会社ブックオフウィズ
株式会社ブックオフ沖縄
リユースコネクト株式会社
ビーアシスト株式会社
株式会社ブクログ
BOOKOFF U.S.A. INC.
BOOKOFF FRANCE E.U.R.L.
SCI BOC FRANCE